



インパクト
コンソーシアム

第3回 データ・指標分科会資料

(2025年12月25日 13:00-15:00)

1. 開会
2. 事務局説明（事務局）
3. ディスカッションメンバーによる取組紹介【環境分野】（今田座長）
 - 3－1 王子ホールディングス
4. ディスカッションメンバーによる取組紹介【ベンチャーキャピタル・機関投資家】（今田座長）
 - 4－1 キャピタルメディカ・ベンチャーズ
 - 4－2 明治安田生命
5. ディスカッションメンバーによる取組紹介【資産運用分野】（今田座長）
 - 5－1 三井住友DSアセットマネジメント
6. 「指標集（案）」（α版）の紹介（事務局）
7. 事務局連絡／閉会（事務局）



1. 開会



2. 事務局説明

第2回データ指標分科会アンケート調査結果（1/2）

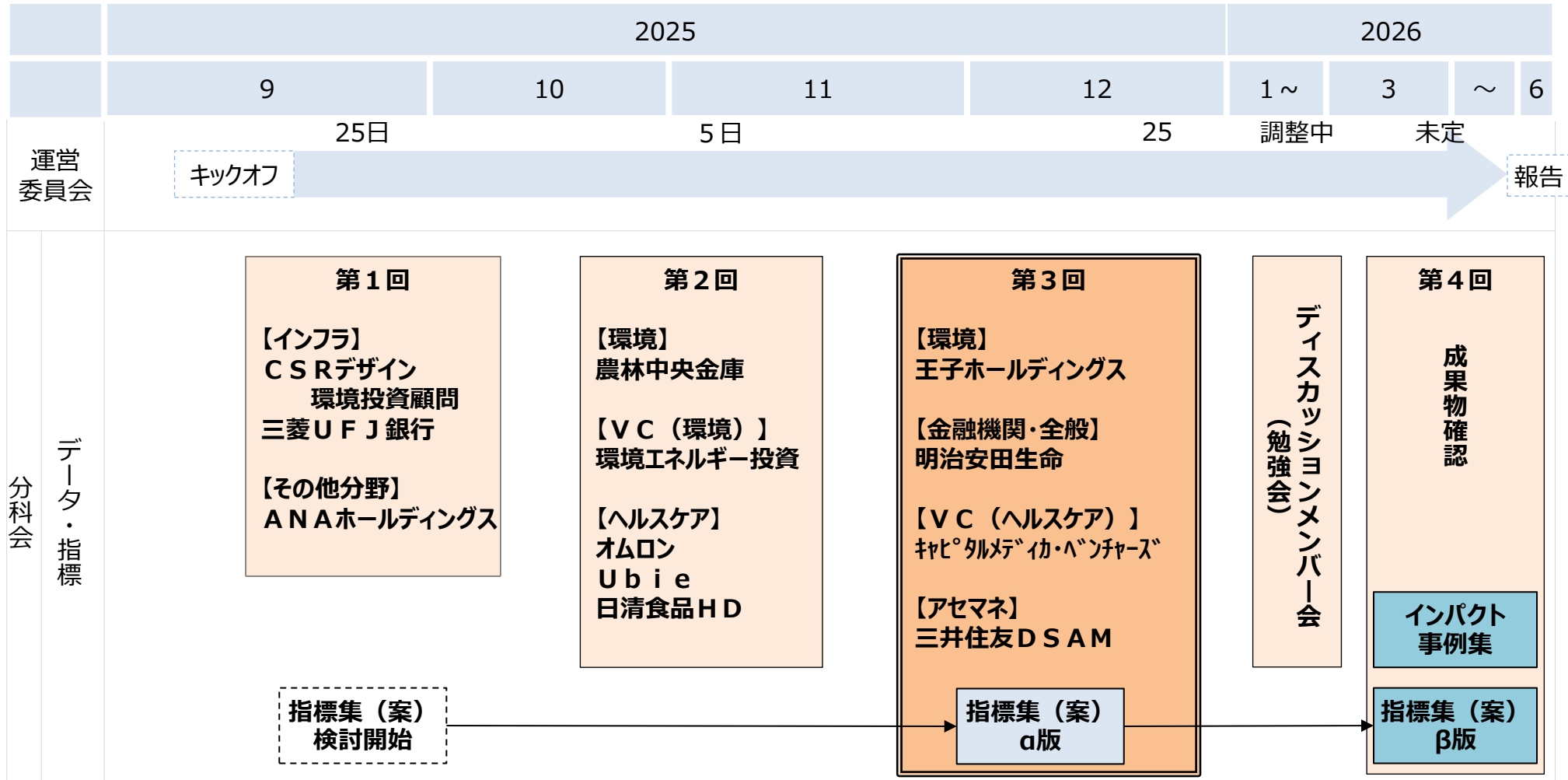
項目	主な回答
第2回分科会の満足度	<p>平均4.315（5段階中）【出席者（回答者）の満足度を5～1点で指標化して算出】</p> <p>【非常に役に立った（非常に興味深かった）】</p> <ul style="list-style-type: none">・ <u>個々の企業のインパクト取組みについて深掘りした内容を知ることができた。また、公表資料では見えにくい悩み事を知ることができたのも有益であった</u>・ 各社の具体的事例・インパクト指標の特定・計測・開示に関する内容について包括的かつ体系的に知ることができたため・ アウトカムの設定や経済性分析について、実際に今どこまではできていて、どのような点が課題で悩んでいるかがよくわかった・ 各企業の実例を紹介いただいたので、自社に組み込む具体的なイメージができた・ 事例発表の業種が限定されており、自社（今回はヘルスケア事業）の参考にしやすいため。また、トリプル・アイというイニシアチブの存在を知り、参加の機会をいただけたことも良かった <p>【役に立った（興味深かった）】</p> <ul style="list-style-type: none">・ <u>中間指標であるアウトカムKPIの設定は、各社の事業構築の考えが反映される工夫の特色が出るポイントだと思うので、どのように設定し、どのように生かし事業のPDCAを回しているかという観点で共有ができるとより有意義だと思いました</u>・ 指標は「測ること自体が目的ではなく、事業戦略に落とし込むことが本当の目的である」という観点から、測定後どのように活用しているか、というディスカッションを次回以降できると良いと思いました・ 指標集で共有する際には、各社の事例について、どのようなゴール（社会変化）を目指したアウトカム・指標なのかがわかる形になっていると、参考にしやすいと考える・ 生物多様性、ヘルスケアともに、参考となる指標の活用事例があった。今後、指標集への掲載について、KPIとしての妥当性や実効性等について、議論、検証ができればよいと思う・ データ・指標の標準化に向けて、Ubieが取り上げたQALYは、GIINも重要指標の一つと見なしているものであり、実際どのように計測されているか、より深掘りしたい内容であった・ Triple Iなど、国としての取組をあまり知らなかったので勉強になった

第2回データ指標分科会アンケート調査結果（2/2）

項目	主な回答																																						
ディスカッションメンバーによる パネルディスカッションを踏まえ たご意見やコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指標の策定は、1事業者だけで検討するには負担が大きい ・ ポートフォリオを自然関連の単一指標で評価する取組に関してDMの関心が高かったことに気づきがあった ・ エビデンスとなる過去の研究等の調査方法についてはAI等を利用した優れたサービスが出てくることを期待 ・ 指標を検討するにあたって、ベースラインの置き方（見直し要否）や、算定式の立て方が悩ましい。どのように算定を行っているのか等の事例をお伺いしたい ・ 企業が社会に与える“インパクト”の大きさと、その企業の“パフォーマンス”にどのくらいの相関関係があるのか、既に検証結果が有るのであれば知りたく思った 																																						
ESG関連業務（インパクト 事業・ファイナンス等）に関 する業務歴・年数	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th><th colspan="3">第2回までの分科会の内容のレベル感</th></tr> <tr> <th colspan="3"></th><th>とても簡単 ～簡単である</th><th>適切</th><th>難しい～ とても難しい</th></tr> <tr> <th colspan="3"></th><th>10.5%</th><th>68.4%</th><th>21.1%</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ESG関連業務の 業務歴・年数</td><td>未経験～1年未満</td><td>15.8%</td><td>-</td><td>5.3%</td><td>10.5%</td></tr> <tr> <td>1年～5年</td><td>57.9%</td><td>-</td><td>57.9%</td><td>-</td></tr> <tr> <td>5年以上</td><td>26.3%</td><td>10.5%</td><td>5.3%</td><td>10.5%</td></tr> </tbody> </table>								第2回までの分科会の内容のレベル感						とても簡単 ～簡単である	適切	難しい～ とても難しい				10.5%	68.4%	21.1%	ESG関連業務の 業務歴・年数	未経験～1年未満	15.8%	-	5.3%	10.5%	1年～5年	57.9%	-	57.9%	-	5年以上	26.3%	10.5%	5.3%	10.5%
			第2回までの分科会の内容のレベル感																																				
			とても簡単 ～簡単である	適切	難しい～ とても難しい																																		
			10.5%	68.4%	21.1%																																		
ESG関連業務の 業務歴・年数	未経験～1年未満	15.8%	-	5.3%	10.5%																																		
	1年～5年	57.9%	-	57.9%	-																																		
	5年以上	26.3%	10.5%	5.3%	10.5%																																		
第2回までのプレゼン内容・ 議論のレベル感																																							
今後の会議運営・内容に関 する意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の会議で、依然として各社の開示に差があることから、インパクト結果の標準化、透明性確保がデータ・指標が活用できる前提であると思ったが、それにはコストがかかる。そのコストは誰が負担すべきか、インパクト投資が普及すればするほど投資家、運用会社、ポート企業の間で問題になるように思う ・ 今回はヘルスケア中心で似たテーマについて様々な企業の話を知ることができたのがよかった。今後もある程度関連した話が聞けるとありがたい ・ インパクト投資に対して投資家の考え方はある程度集約しているように感じますが、事業会社の取り組みが多岐にわたっており、なにがベストかわかりにくく思います。統一は無理としても、できるだけ多くの会社の取り組みを事例集として公開していただきたい 																																						

データ・指標分科会 今年度の取組

- 分科会は年間4回を計画（下表記載のプレゼン企業は未定）
- 1 - 3 月には、ディスカッションメンバー会を予定。内容を整理のうえ後日公表を予定



3. ディスカッションメンバーによる取組紹介

3-1 王子ホールディングス

4. ディスカッションメンバーによる取組紹介

4-1 キャピタルメディカ・ベンチャーズ

4-2 明治安田生命

5. ディスカッションメンバーによる取組紹介

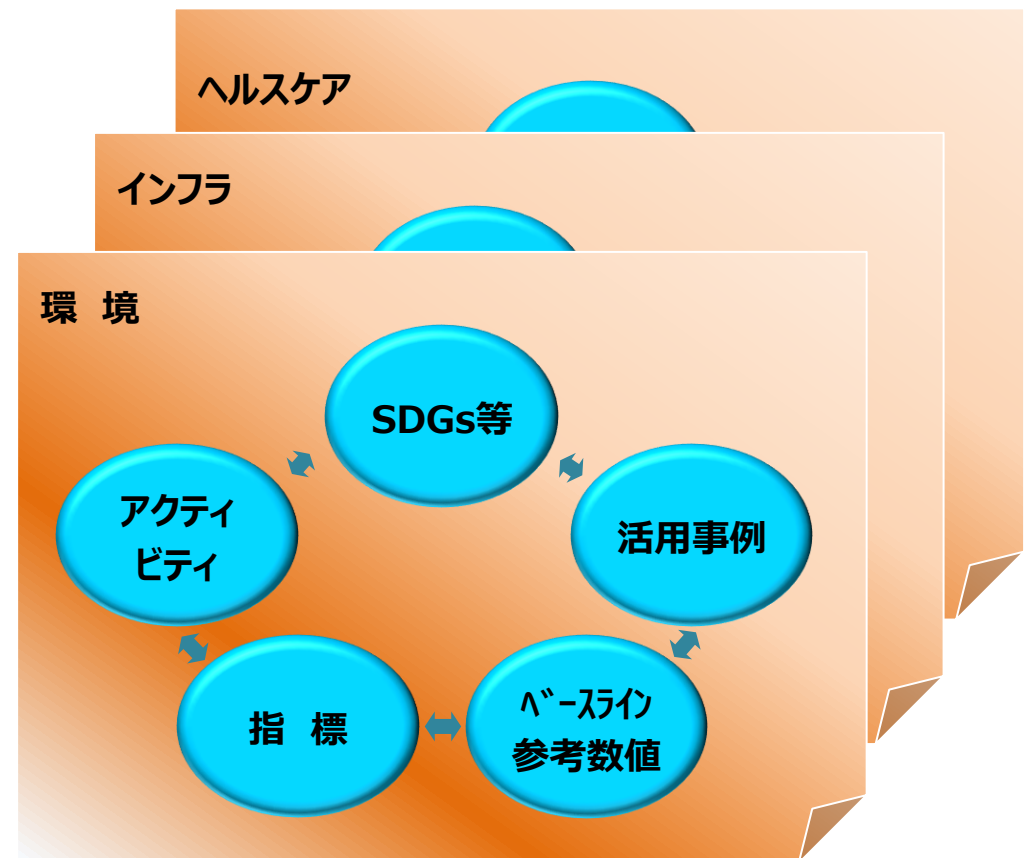
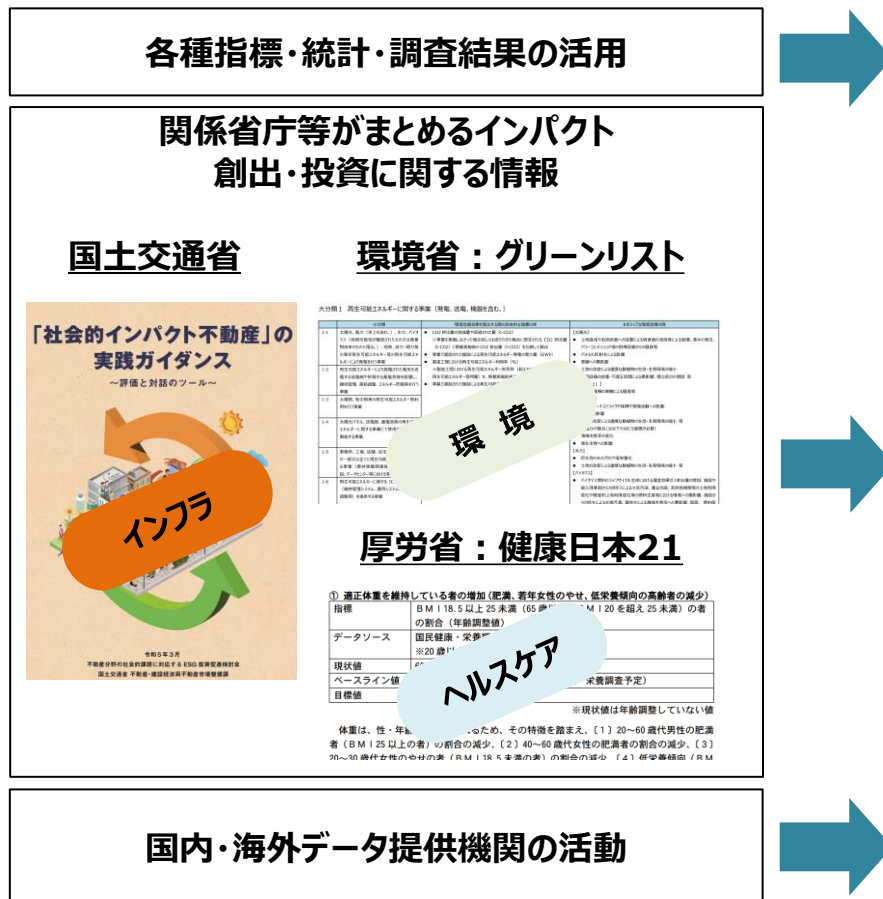
5-1 三井住友DSアセットマネジメント



6. 「指標集（案）」（α版）の紹介

- 関係省庁の協力も受けて、公表物記載の各指標に加え、参考数値等（一部）を掲載した「指標集（案）α版」を策定
- ディスカッションメンバー会による討議・事例共有を経て、第4回分科会において「β版」を紹介（予定）

指標集（案）イメージ



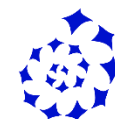
指標集（案）α版「インフラ」

通番	分野	インパクト	アクティビティ例	アウトプット例・アウトカム例	インパクト指標	単位例	指標参考リンク	参考数値・資料
1	インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）耐震性の確保		高い耐震性を有する建築物の整備	地震後施設復旧時間	分、時間	「社会的インパ	*
2	インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）耐震性の確保		住宅性能評価書等の取得	損壊床面積	m ²	「社会的インパ	*
3	インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）水害への備え		雨水貯留浸透施設・緑地	豪雨時の浸水被害の減少	m ³ 、カ所	「社会的インパ	*
4	インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）水害への備え		浸水対策されている床面積	浸水床面積・経済的被害割合	m ² ・円	「社会的インパ	*
5	インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）水害への備え		電気設備の浸水対策されている床面積	水害後施設復旧時間	分、時間	「社会的インパ	*
6	インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）防災設備の設置		非常用発電設備数	停電時の電気供給可能時間・供給可能床面積	分、時間、m ²	「社会的インパ	*
7	インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）防災設備の設置		備蓄の備蓄量	備蓄の提供可能人数	人	「社会的インパ	*
8	インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）電線類地中化		地中化された電線類の延長	災害時の停電発生戸数	戸	「社会的インパ	*
9	インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）災害時対応の準備		BCPを策定かつテナントのBCPとテナントの営業停止時間等		分、時間	「社会的インパ	*
10	インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）災害時対応の準備		テナント等が参加する防災訓練の	防災訓練の参加企業数・割合	社・%	「社会的インパ	*
11	インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）災害時対応の準備		一時滞在施設としての指定・協定	帰宅困難者の受入可能人数	人	「社会的インパ	*
12	インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）災害時対応の準備		避難所に関する行政との協定締結	一人当たりの避難所面積	m ²	「社会的インパ	*
13	インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）災害時対応の準備		Wi-Fi/充電設備の設置	Wi-Fi/充電設備の利用可能時間	分、時間	「社会的インパ	*
14	インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）災害時対応の準備		災害時情報の発信設備の設置	災害時情報を受信可能な利活用者数	人	「社会的インパ	*
15	インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）耐火建築物・準耐火建築物や避難（準）耐火建築物の整備			建築物の焼き損害額	円	「社会的インパ	*
16	インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）耐火建築物・準耐火建築物や避難（準）耐火建築物の整備		消火設備等の設置	周辺地域の類焼建案件数	件	「社会的インパ	*
17	インフラ	自然災害等への備え（レジリエンス）耐火建築物・準耐火建築物や避難（準）耐火建築物の整備		警報設備等の設置	全在館者の避難完了時間	分、時間	「社会的インパ	*
18	インフラ	防犯に配慮したまちづくりの実現	防犯性向上のための設備の設置	セキュリティの設置/種類数	安全をおびやかす事案の発生件数	件	「社会的インパ	*
19	インフラ	防犯に配慮したまちづくりの実現	防犯性向上のための設備の設置	ビル管理システムへのサイバーセ	入居者のセキュリティに対する満足度	%	「社会的インパ	*
20	インフラ	防犯に配慮したまちづくりの実現	防犯性向上のための設備の設置	ビル管理システムへのサイバーセ	セキュリティインシデント発生回数	回	「社会的インパ	*

指標集（案）α版「環境」

通番	分野	インパクト	アクティビティ例	アウトプット例・アウトカム例	インパクト指標	単位例	指標参考リンク	参考数値・資料
173	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	再生可能エネルギーに関する事業	1-1 太陽光、風力（洋上を含む）	CO2 排出量の削減量や回避された量	t-CO2	グリーンリスト	*
174	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	再生可能エネルギーに関する事業	1-1 太陽光、風力（洋上を含む）	事業で建設された施設による再生可能エネルギー	GWh	グリーンリスト	*
175	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	再生可能エネルギーに関する事業	1-1 太陽光、風力（洋上を含む）	製造工程における再生可能エネルギー利用率	%	グリーンリスト	*
176	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	再生可能エネルギーに関する事業	1-1 太陽光、風力（洋上を含む）	事業で建設された施設による再生可能エネルギー	GW	グリーンリスト	*
177	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	再生可能エネルギーに関する事業	1-2 再生可能エネルギーにより発電	CO2 排出量の削減量や回避された量	t-CO2	グリーンリスト	*
178	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	再生可能エネルギーに関する事業	1-3 太陽熱、地中熱等の再生可能エネルギー	CO2 排出量の削減量や回避された量	t-CO2	グリーンリスト	*
179	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	再生可能エネルギーに関する事業	1-4 太陽光パネル、送電線、蓄電池	CO2 排出量の削減量や回避された量	t-CO2	グリーンリスト	*
180	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	再生可能エネルギーに関する事業	1-5 事務所、工場、店舗、住宅等	CO2 排出量の削減量や回避された量	t-CO2	グリーンリスト	*
181	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	再生可能エネルギーに関する事業	1-6 再生可能エネルギーに資する設備	CO2 排出量の削減量や回避された量	t-CO2	グリーンリスト	*
182	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	省エネルギーに関する事業（省エネ）	2-1 事務所、工場、住宅、データセンター等	CO2 排出量の削減量	t-CO2	グリーンリスト	*
183	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	省エネルギーに関する事業（省エネ）	2-1 事務所、工場、住宅、データセンター等	エネルギー使用量の削減量	MJ 等	グリーンリスト	*
184	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	省エネルギーに関する事業（省エネ）	2-1 事務所、工場、住宅、データセンター等	事業に係る建築物に関し取得した BELS、ZEH、ZEH2 等の認定数	種類・数	グリーンリスト	*
185	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	省エネルギーに関する事業（省エネ）	2-1 事務所、工場、住宅、データセンター等	導入した省エネルギー設備（例：LED 照明や高効率空調機）	台数	グリーンリスト	*
186	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	省エネルギーに関する事業（省エネ）	2-1 事務所、工場、住宅、データセンター等	データセンター等におけるエネルギー効率	PUE	グリーンリスト	*
187	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	省エネルギーに関する事業（省エネ）	2-2 事務所、工場、店舗、住宅等	CO2 排出量の削減量	t-CO2	グリーンリスト	*
188	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	省エネルギーに関する事業（省エネ）	2-3 エネルギー貯蔵、地域冷暖房設備	CO2 排出量の削減量	t-CO2	グリーンリスト	*
189	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	省エネルギーに関する事業（省エネ）	2-4 省エネルギーに資する ICT ソリューション	CO2 排出量の削減量	t-CO2	グリーンリスト	*
190	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	汚染の防止と管理に関する事業	3-1 循環経済の実現にあたって、資源の効率的な利用	事業実施により削減される埋立処分量	t	グリーンリスト	*
191	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	汚染の防止と管理に関する事業	3-1 循環経済の実現にあたって、資源の効率的な利用	廃棄物等のうちリサイクルされるものの割合	%	グリーンリスト	*
192	環境	地球温暖化対策・自然資本の劣化	汚染の防止と管理に関する事業	3-1 循環経済の実現にあたって、資源の効率的な利用	事業において発生する廃棄物のリサイクル率	%	グリーンリスト	*

指標集（案）α版「ヘルスケア」



インパクト
コンソーシアム

通番	分野	インパクト	アクティビティ例	アウトプット例・アウトカム例	インパクト指標	単位例	指標参考リンク	参考数値・資料
353	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	栄養バランスの取れた食事の提供	B M I 18.5 以上 25 未満（65 歳以上は B M I 20 :	%	健康日本21（第	*
354	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	栄養バランスの取れた食事の提供	児童・生徒における肥満傾向児の割合	%	健康日本21（第	*
355	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	栄養バランスの取れた食事の提供	がんの年齢調整罹患率（人口10万人当たり）	各年齢の	健康日本21（第	*
356	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	栄養バランスの取れた食事の提供	がんの年齢調整死亡率（人口10万人当たり）	各年齢の	健康日本21（第	*
357	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	栄養バランスの取れた食事の提供	脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡率（人口 10	各年齢の	健康日本21（第	*
358	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	栄養バランスの取れた食事の提供	収縮期血圧の平均値（40 歳以上、内服加療中の	mmHg	健康日本21（第	*
359	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	栄養バランスの取れた食事の提供	L D L コレステロール 160mg/dl以上の者の割合	%	健康日本21（第	*
360	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	栄養バランスの取れた食事の提供	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の	万人	健康日本21（第	*
361	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	栄養バランスの取れた食事の提供	糖尿病腎症の年間新規透析導入患者数	人	健康日本21（第	*
362	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	栄養バランスの取れた食事の提供	HbA1c8.0%以上の者の割合	%	健康日本21（第	*
363	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	栄養バランスの取れた食事の提供	糖尿病有病者数（糖尿病が強く疑われる者）の推	万人	健康日本21（第	*
364	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	栄養バランスの取れた食事の提供	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の	万人	健康日本21（第	*
365	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	栄養バランスの取れた食事の提供	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回	%	健康日本21（第	*
366	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	栄養バランスの取れた食事の提供	野菜摂取量の平均値	g	健康日本21（第	*
367	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	栄養バランスの取れた食事の提供	果物摂取量の平均値	g	健康日本21（第	*
368	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	栄養バランスの取れた食事の提供	食塩摂取量の平均値	g	健康日本21（第	*
369	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	ウォーキングアプリのダウンロード	B M I 18.5 以上 25 未満（65 歳以上は B M I 20 :	%	健康日本21（第	*
370	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	ウォーキングアプリのダウンロード	1 日の歩数の平均値（年齢調整値）	歩	健康日本21（第	*
371	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	ウォーキングアプリのダウンロード	運動習慣者の割合（年齢調整値）	%	健康日本21（第	*
372	健康・医療	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	適切な食事・運動・睡眠を推進	ウォーキングアプリのダウンロード	1 週間の総運動時間（体育授業を除く）が 60	%	健康日本21（第	*

【本指標集（案）の趣旨】

- 「指標集（案）」は、各事業者におけるアクティビティ・アウトプットが、どのようなアウトカムを経て、どうインパクト創出に至るかという過程をイメージすることに繋がるリストであり、インパクト創出に至るロジックを策定するための1つのツールとして作成・提供

※留意事項

- － 「指標集（案）」は、あくまでインパクト創出に至るロジックの考え方の手がかりを提示するものであり、インパクトコンソーシアムとして、本指標集（案）に掲載する情報の採用を推奨・保証したり、また、異なる考え方を排除したりする趣旨ではない
- － 将来的に、我が国において、インパクト創出・投資に関わる目標・指標等が検討される際には（ポストSDGsの文脈等において）、本指標集（案）が参考に供され、時代や社会の変化に応じて適宜改訂されていくことも期待

【本指標集（案）の策定の考え方（案）】

- 「指標集（案）」は、2024年度データ・指標分科会の議論の中で、企業・投資家等の関心が高い課題分野とされた、環境（気候変動・生物多様性・環境保全）、ヘルスケア（健康・医療）、インフラ（インフラ整備・都市開発）について検討
- 指標を整備するための参照元としては、関係省庁等において既にとりまとめられている、インパクト創出・投資に資すると考えられる情報を中心に採用（例：国土交通省「社会的インパクト不動産」の実践ガイダンス等）
- インパクト目標・指標を測定するうえで必要となるベースライン値等として、公表されている統計情報等を元に、提供が可能な範囲で参考情報として掲載

※留意事項

- － 「指標集（案）」は、各分野における指標の収集を幅広く進めていくことに努めるものの、当該分野において社会的課題・インパクト創出が求められる課題のすべてを網羅しているわけではない
- － インパクト創出を企図する事業の内容によって、比較対象となるベースライン値等を、不足なく整備することは困難となることが想定されるため、それらを補完する材料として、先行取組事例における対処方法等を掲載
- － 「指標集（案）」において採用する指標は、原則、アウトカムに対する指標を予定（ただし、アウトプットとアウトカムの整理の仕方には幅があるため、採用する指標の一部はアウトプットに対する指標として捉えうることも想定）

7. 事務局連絡／閉会

- Q. 第1回分科会アンケートでは、IMM（インパクトの特定・測定・管理）の実践において困難がある点として、「指標の設定やその計測・集計（72%）」、「事業と結びつくインパクトの特定（40%）」が挙げられていました。**
- これらの課題を解決するために、自組織におけるインパクト創出（インパクトの特定、ロジックモデルの策定から、計測、改善に至るまでのプロセス）のPDCAを回していくなかで、どのような外部サービスのサポートがあれば良いと考えますか。**
- a. インパクト創出に関わるプロセスについて助言・支援を行うコンサルティングサービス
 - b. 自組織の事業に関連性のあるデータを提供するサービス
 - c. 自組織の事業に応じて、指標設定、インパクト特定、ロジックモデル作成・提案を行うサービス
 - d. 自組織の創出するインパクトを効率的にPRできる報告書・ウェブサイト作成支援サービス
 - e. 投資家等に、自組織の事業を対面・物理的に宣伝・発表できる場を提供するサービス